

会 議 録

会議の名称		第 2 回豊中市市民公益活動推進委員会		
開催日時		令和 6 年（2024 年）7 月 23 日（火）15 時～16 時 30 分		
開催場所		庄内コラボセンター「ショコラ」 4 階 多目的室 I	公開の可否	可・不可・ 一部不可
事務局		市民協働部 コミュニティ政策課	傍聴者数	2 人
公開しなかった理由		案件 1 のみ豊中市情報公開条例第 23 条第 1 号の規定に基づき非公開		
出席者	委員	大島会長、山田副会長、関委員、上林委員、谷委員、森島委員 中尾委員、本多委員、大濱委員、三井委員、山本委員		
	事務局	宮城部長、水谷次長 コミュニティ政策課 開発係長、三上主査、田中直、田村、水野 地域連携課 本田課長、松本主幹、梅田係長		
議題		1 第 1 回市民公益活動推進部会からの報告と委員会意見について（非公開） 2 令和 5 年度(2023 年度)市民公益活動推進施策の実施状況の評価について（公開） 3 その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)		別紙のとおり		

令和 6 年度（2024 年度）第 2 回 豊中市市民公益活動推進委員会 議事概要

日 時 令和 6 年（2024 年）7 月 23 日（火）15 時～16 時 30 分

場 所 庄内コラボセンター「ショコラ」 4 階 多目的室 I

出席委員 大島、山田、関、上林、谷、森島、中尾、本多、大濱、三井、山本（敬称略）

議 事 概 要

1. 開会

開会宣言、会議成立の確認、本日の案件及び資料等の確認。

2. 審議等

■案件 1 第 1 回市民公益活動推進部会からの報告と委員会意見について（非公開）

資料 1：協働事業市民提案制度に基づく提案内容に対する委員会意見について

■案件 2 令和 5 年度（2023 年度）市民公益活動推進施策の実施状況の評価について

資料 2：令和 5 年度（2023 年度）豊中市市民公益活動推進施策実施状況の評価について

資料 3：市民公益活動推進委員会の評価・意見について（第 1 章から第 3 章・5 章）

○第 4 章 推進環境の整備について

委員

市民公益活動支援センターの役割について、市民活動を推進していく最前線の重要な場所であると考えている。ぜひ、受託団体のスタッフが委員会に陪席できるようにして、委員会での意見等を日々の業務の参考としていただきたい。

○第 5 章 推進体制の整備等について

委員

NATS の 4 市等、できれば協働推進の点で各市の市民公益活動支援センターのような中間支援を担っている団体の意見交換の場を行政が設けてはどうか。

事務局

センター運営団体同士の連携はすでにあり、市民公益活動センターにも各市の運営団体が来られ意見交換を進めた事例もある。引き続き、行政のみならず中間支援を行う受託団体等も協働の推進を図れるように進めていきたい。

委員

コロナ禍以前は、市の職員が市民公益活動の現場を体験する研修があったように思う。現在の状況はどうか。

委員

今年度、2年目の市の職員が市民公益活動団体の活動を体験する研修を行っている。市民公益活動支援センターと人事課で相談のうえ決定した、体験先のリストをもとに対象の市職員がどの団体の活動に参加するか選択して実際に体験する内容で実施している。

委員

協働事業市民提案制度は、協働の推進にあたり貴重な制度だと考えている。市の職員がしっかりと制度を活用できるよう、職員研修等を通じて全庁的な周知を行い、行政からの様々な提案のテーマ提示によって、市民からも提案しやすいよう工夫いただきたい。

事務局

令和6年度の協働推進員研修では、カードゲーム形式で仮想の地域課題を設定し、地域の強みを生かした課題解決について意見交換することで協働のマインドを醸成し、協働事業市民提案制度の活用のきっかけとなる場を設定した。引き続き、協働事業市民提案制度の庁内周知に取り組んでいく。

○第6章 地域自治推進の取組みについて事務局から説明

委員

「地域自治推進条例施行10年間の運用状況と今後の取組みについて」の答申の内容やそれを受けた「新たな取組み」は触れたほうがいいのか。

東泉丘小学校区の「地域の未来を考えよう！」の開催成果（参加者数、どのようなイベントを企画するのか等）についてももう少し触れることはできないか。

事務局

実施状況報告書に反映する。

委員

自身の中豊島の地域で大会議を実施した。これまで見えていなかった地域の有力な人たちに参加いただいた事で、例えば公民分館の役員に新たに5名の30代、40代の子育て世代の方が参加してくれる事になった。地域にとって、新しいアイデアをたくさん出してもらうなど、大きな力になっている。大会議のお陰でそういった人たちを発掘できた事に大きな効果を感じており、地域自治組織に向けた検討を行っている。

一方で、地域自治組織が進んでいない地域が多くある理由としては、市の制度紹介として、すでに様々な活動を行っている団体に案内することが多く、単にやるが増えるのではないかという拒否反応があるのではないか。今やっていることと横並びでなく、様々な団体と協力し合い、もっと負担なく楽しく活動するための制度であり、予算を有効に使えるという説明を丁寧に理解してもらえるような工夫が必要ではないか。この制度のメリットをもっと伝え、地域の人が地域自治組織についてイメージしやすいよう、広報周知活動の工夫をされたい。

委員

自身の中豊島の地域では、10年前に分館や社協、PTA、防犯など横のつながりづくりとして地域の各団体と協議会を作った。よってこれまでは協議会があるから地域自治組織はいらないだろうという意見だったが、地域でハザードマップ上、洪水時に50cm以上浸かる地域が約半分あり、さらにその場所に自治会がないこともあり、住民の中で危機意識が高まり「防災」に関しては地域でよりまとまった方が良いのではという考えのもと、急遽、地域自治組織の検討に入る事となった。

この動きは他の校区の皆さんにも共通する部分もあるではないか。防災などの具体的な取組みやその予算の活用事例を紹介するなどといった周知ができるのではないか。

委員

校区別データベースの公開はどこまで進んでいるか。地域のデータを集めているのに、それを地域の人たちが活用できないのは勿体ない。自分たちの地域にどのような資源・課題があり、どのような人が活動しているかなど、住民が知ってこそどう動くかという話になると思う。ぜひオープン化を進めて頂きたい。

事務局

現在は、市の職員が見ることのできる環境に掲載している。一方で、市が持つデータをオープン化する「とよなかダッシュボード」の取組みがあり、校区別データベースも市民にも公表できるように進めていきたい。

委員

「自治」という言葉ではなかなか住民は動かないと思っている。地域をどう作っていくか、どう運営していくかという事について、自治という言葉は距離感を感じて言葉が通じにくい。行政のリーフレットも難しい言葉が多い。

自分たちの住んでいる地域の未来を一緒に考えようという方向性で、1つのまちを我々がつくっていくといった形で進めてほしい。自分はどう参画できるのか、自分たちがやれる事を探していくような、ハードルを低く設定する形で進めていかないと住民参加は難しいと感じている。地域自治組織の周知もそういった視点でお願いしたい。

○第7章 市民公益活動推進委員会について

意見なし

○第8章 評価・意見の取りまとめについて

委員

協働事業市民提案制度について、常時相談受付をしていただくことは可能か。相談はいつでも受付けますよと打ち出していただくことで、提案のしやすい制度となるのではないか、その周知もお願いしたい。

また、市民公益活動推進条例 20 年の節目にあたり、周知検討と記載があるが、条例の改正などは検討されているか。

事務局

協働事業市民提案制度については、ご相談や聞き取りは通年で対応させていただいている。市民公益活動推進条例の改正は予定していない。必要があれば対応していく。

委員

市民公益活動推進条例については、施行された 20 年前と今では状況が異なっていることも考えられる。施行時にはなかった地域自治組織との関係性等も加味し、位置づけなども検討が必要であれば検討いただきたい。

委員

協働事業市民提案制度の相談に関し、市民公益活動支援センターの位置づけ・役割はどうなっているか。いきなり行政の窓口に行くのは敷居が高いが、普段から活動しているところで同じ目線で一緒に考えてもらえるという点では、本当の意味での中間支援ができるのではないかと考えている。

事務局

市民公益活動支援センターでも市民提案制度だけではなく助成金制度なども案内や相談を行っている。また、市民公益活動支援センターでは定期的に協働マッチング交流会を実施している。昨年度はショコラの市部局と、ショコラで活動している市民公益活動団体を、市民公益活動支援センターが仲人をする形で行政と団体が出会う場を設けていただいた。年末には千里コラボでも実施した。交流会などを通じた行政と市民公益活動団体との協働のきっかけづくりを引き続き行っていく。

会長

では、本日の意見を踏まえて委員会の評価・意見とさせていただきたいと思う、この後、私と事務局で文言の整理等の確認を行うことでよろしいか。

一同異議なし

■案件3 その他

事務連絡

- 第1回 助成金審査部会 庄内コラボセンター「ショコラ」 4階 多目的室Ⅱ
8月27日（火）午後4時30分から午後6時まで 開催
- 第3回 市民公益活動推進委員会 10月下旬 開催 日程調整を行っている

3. 閉会